

(様式4-1)

先導的な木造化の取組内容

サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）に応募する場合（優良木造建築物等整備推進事業と組み合わせる場合を含む）に作成してください。

| プロジェクト名 | | |
|---|-------------------|--|
| 構造・防火面で先導性に優れた設計又は施工技術の導入、耐久性への配慮 | 技術的な工夫の内容と普及・波及効果 | <p>※募集要領の別紙1(1)の「評価委員会における評価にあたっての視点」を踏まえ、木造化に係る構造・防火面での設計・施工技術の工夫や当該設計・施工技術が他の事業者の参考となるなど普及性や応用可能性について、具体的内容を箇条書きで記載して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2. 3. ・ |
| 【要件(1)】 | 基準の合理化等を踏まえたチャレンジ | <p>※募集要領の別紙1(1)の「評価委員会における評価にあたっての視点」を踏まえ、近年の建築基準法改正等により可能となった設計方法等の活用について、具体的内容を箇条書きで記載して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2. 3. ・ |
| | 耐久性に関する配慮 | <p>※募集要領の別紙1(1)の「評価委員会における評価にあたっての視点」を踏まえ、建物の耐久性確保に関する普及性や応用可能性について、具体的内容を箇条書きで記載して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2. 3. ・ |
| 木材利用に関する建築生産システムの先導性 【要件(2)】 | | <p>※募集要領の別紙1(2)の「評価委員会における評価にあたっての視点」を踏まえ、具体的内容を箇条書きで記載して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2. 3. ・ |
| 主要構造部*に木材を一定以上使用 【要件(3)】 ※構造耐力上主要な部分を含む | | <p>以下のいずれに該当するか、選択して下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>①木造の建築物（主要構造部の全てを木造とした建築物）</p> <p><input type="checkbox"/>②建築物の部分が木造の建築物（立面混構造や平面混構造などのように、木造部分と木造以外の構造の部分の床面積を明確に切り分けられる構造の建築物）</p> <p><input type="checkbox"/>③主要構造部に一定以上の木材・木質材料を使用する混構造の建築物</p> <p>※上記の要件を満たしていることを具体的に説明して下さい。</p> |
| 規模・階数等 【要件(4)】 | | <p>※「建築基準法令上、構造・防火面の特段の措置を必要とする規模以上であること」を具体的に簡潔に説明して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. _____ 2. _____ <p>以下のいずれに該当するか、選択して下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>防火地域又は準防火地域の場合、延べ面積が500㎡を超えるもの又は階数が3以上</p> <p><input type="checkbox"/>その他地域の場合、延べ面積が1,000㎡を超えるもの又は階数が3以上のもの</p> |
| 木造化された建築物の普及 【要件(5)】 | ①竣工後に提案内容を検証 | <p>※募集要領の別紙1(5)①を踏まえ、提案された個々の先導的な技術を検証するタイミング、検証方法、誰が検証・公表するのか等について、具体的内容を記載して下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> (検証内容) を (検証時期) に行い、取りまとめた (公表方法) にて公表する。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>②竣工後に多数の者の目に触れる</p> | <p>※募集要領の別紙1(5)②を踏まえ、予定する取組みの内容や当該施設が多数の者の目に触れること等について、具体的内容を記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> (時期)に内覧会・現場見学会を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> _____を行い多数の目に触れることを計画する。</p> |
| <p>③設計・施工等に関する技術資料の公表</p> | <p>※募集要領の別紙1(5)③を踏まえ、設計図書等の技術資料の公表の可否及び公表の範囲(否の場合はその理由)について、具体的内容を記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価委員会又は国土交通省の求めに応じ、補助事業者の財産上の利益、競争上の地位等を不当に害する恐れのない限り、先導的な木造建築物の普及に資する設計、施工等に関する技術資料(設計図書等)を公表する</p> <p><input type="checkbox"/> 床が木造であるので、竣工時に評価事務局が指定する方法により床衝撃音データを取得しその結果を当該床の断面図とともに国土交通省へ提供する。</p> |
| <p>④建設工事費情報の公表への協力</p> | <p><input type="checkbox"/> 国土交通省が建設工事費、修繕費、維持管理費等に関する情報を整理し建築物の諸元と併せて公表することに協力することに同意する。</p> |
| <p>⑤炭素貯蔵量の算定・表示</p> | <p>※募集要領の別紙1(5)⑤を踏まえ、他の評価機関や評価方法により算出の上、炭素貯蔵の効果を見える化する対応を別途講ずる場合は、具体的内容を記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 炭素貯蔵量の算定方法は「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」(令和3年10月1日付3林政産第85号)に基づく方法で行い、表示方法は、____で行い(時期)_____に表示する。</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> |
| <p>省エネ基準(地方公共団体等が建築主の場合、ZEH又はZEBの水準)への適合 【要件(6)(7)】</p> | <p>※所管行政庁に届出した「届出書(第1面～第4面)」又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関等による適合判定通知書やBELS評価書等を提出してください。</p> <p>※申請時に添付ができない場合は、完了実績報告時に提出してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 省エネ基準に適合する。</p> <p><input type="checkbox"/> 提案者が地方公共団体等の場合、ZEH・ZEB水準に適合する。</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> |
| <p>住宅の場合、土砂災害警戒区域外 【要件(8)】</p> | <p><input type="checkbox"/> 建築物の用途が住宅ではない。</p> <p><input type="checkbox"/> 建築物の用途が住宅である場合、建設地が土砂災害特別警戒区域ではない。</p> |
| <p>住宅等の場合、都市再生特別措置法88条5項の公表について 【要件(9)】</p> | <p><input type="checkbox"/> 建築物の用途が住宅等ではない。</p> <p><input type="checkbox"/> 建築物の用途が住宅等である場合、当該住宅等の建設地が居住誘導区域内にある。</p> <p><input type="checkbox"/> 建築物の用途が住宅等である場合、当該住宅等の建設地が居住誘導区域外にあるが、都市再生特別措置法第88条第5項の規定により、当該住宅等に係る届出をした者が同条第3項の規定による勧告に従わなかった旨が公表されているものではない。</p> |
| <p>その他</p> | <p>※技術的根拠とした条文・規定類(法・政省令、告示、構造や材料等の大臣認定、防火検証法等)、任意評定、実験データ等を正確に記載してください。</p> <p>例)新たに大臣認定を取得した耐火性能を有する木質系構造部材を使用、全ての木材について森林認証材を使用(具体の認証制度名等についても記載)等</p> |

先導的な木造化の取組内容 詳細 (A 4・最大7枚)

| プロジェクト名 | |
|--|--|
| <p>※提案する先導的な木造化の取組について、募集要領の別紙1(1)及び(2)に記載する事業の要件に適合していることが端的に理解できる説明(概要図や内外観イメージ図等を交えたもの)をしてください。構造、防火、耐久性の観点は必ずそれぞれご説明ください</p> <p>※なお、本様式によらない資料を用いる場合、A4版1枚以内を条件に追加を認めます。</p> | |